

2026年3月18日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
 (コード番号：4572)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美  
 (TEL：078-302-7075)

CDC7阻害剤monzosertibの非臨床研究に関するアメリカ癌学会（AACR）年次総会での発表  
 のお知らせ

2026年4月17日から22日まで米国カリフォルニア州サンディエゴ市において開催されるアメリカ癌学会年次総会（American Association for Cancer Research Annual Meeting）において、当社が開発中のCDC7阻害剤monzosertib（AS-0141）の非臨床研究に関する発表を行いますのでお知らせいたします。

monzosertibは当社が創製したCDC7（cell division cycle 7）キナーゼを標的とする強力かつ選択的で経口投与可能な低分子阻害剤であり、現在、日本において進行性、転移性、再発または難治性の悪性腫瘍患者を対象とした第1相臨床試験が実施されています。当社は、本AACR年次総会において、がん細胞株を用いた解析により得られた、monzosertibにより誘導される細胞死メカニズムに関する新たな知見について、ポスター発表を行います。

monzosertibの非臨床研究に関する発表（発表番号：2925）

ポスタータイトル	Monzosertib, a selective CDC7 inhibitor, induces cell death via premature mitosis promoted by the FOXM1-cyclinB1 axis
セッション	Experimental and Molecular Therapeutics
発表日	2026年4月20日（月）
発表者	Hiroko Endo <sup>1</sup> , Yu Nishioka <sup>1</sup> , Mariko Hatakeyama <sup>1</sup> , Youichi Tajima <sup>2</sup> , Sayuri Ito <sup>2</sup> , Akinori Arimura <sup>1</sup> , Hisao Masai <sup>2</sup> , Masaaki Sawa <sup>1</sup>

<sup>1</sup> Carna Biosciences, Inc. <sup>2</sup>Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

アブストラクト：<https://www.abstractsonline.com/pp8/#!/21436/presentation/3431>

以上

CDC7阻害剤monzosertibについて

monzosertib（AS-0141）は当社が創製したCDC7キナーゼを選択的に強く阻害する医薬品候補化合物です。CDC7（cell division cycle 7）キナーゼは、細胞周期において染色体複製開始の制御に重要な役割

をしていますが、細胞周期制御が異常であるがん細胞において CDC7 活性を阻害すると、がん細胞が死ぬことが知られています。一方で、正常細胞は、細胞周期が正常であるため、CDC7 活性が阻害されても死ぬことはなく、この点から CDC7 阻害剤は非常に副作用の少ない新しい治療薬になると期待されています。CDC7 は、いくつかのがんで過剰発現していることが報告されており、CDC7 阻害薬は、これらのがんの新しい治療薬として期待が寄せられています。カルナバイオサイエンスでは、特異的な CDC7 阻害剤 monzosertib の創出に成功しており、様々ながんを標的とした画期的な治療薬の開発を目指しています。